

## 経営戦略（案）についての意見質問等

意見質問等	回 答
<p>① 全国平均が 89%とはいえ、有収率 86%～90%は効率が悪いと感じる。有収率の高い自治体の事例から取り入れることができるものはないか。</p>	<p>① 平成 27 年度の有収率は 86.0%であり、内訳としては、上田地域が 93.4%、丸子地域が 71.7%、真田地域 68.6%、武石地域 69.9%という内容です。こうしたことから、現在、有収率の低い地区を中心に委託による漏水調査業務を進めています。</p> <p>有収率の高い自治体は、毎年の管路更新率が高い水準にあり、また漏水調査も直営班若しくは委託により、市内全域を行っています。</p> <p>上田市では毎年、全体の 15%程度の範囲を実施していますが、先進都市が導入している監視型漏水調査方法などを導入し、限られた予算の中でできるだけ効率よく漏水を発見できるよう努めています。</p> <p>平成 27 年度の上田市の漏水修理件数は 116 件(このうち漏水調査で発見されたものは 34 件)で、このうちの 90%がφ 50 以下の給水管が原因であり、修理をしてもまた隣の給水管から漏水といったことを繰り返すことから、現状の有収率を維持していくことも困難な状況にあります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、今後とも老朽管路の更新を進めるとともに、漏水調査方法の先進技術も取り入れながら、有収率の向上に努めてまいります。</p>

意見質問等	回 答
<p>② 資金不足比率は、短期の安全性を示していると思われるが、我が国の財政状況が悪化する中で、長期の安全性も示していく必要があるのではないか。</p>	<p>② 資金不足比率の算出式は、(流動負債(翌年度元金償還額を除く)－流動資産)／(営業収益－受託工事収益)となります。</p> <p>上田市は、未払金など1年以内に返済する必要のある債務(流動負債)より、支払財源としての現金、預金(流動資産)が多いため、(流動負債－流動資産)は、マイナスとなります。したがって、資金不足比率は0.0%となります。</p> <p>流動負債(翌年度元金償還額を除く)－流動資産&gt;0となる場合は、資金不足が生じていることを意味します。</p> <p>経営戦略で示した資金不足比率は、今後10年間の投資・財政計画を踏まえた指標であるため、長期指標であると考えています。</p>
<p>③ 2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックなど、今後外国人の宿泊客の増加が予想される中、上水道の安全性、テロ対策などセキュリティについてどの様に取り組んで行くのかお考えを聞かせていただきたいです。</p>	<p>③ 水道施設の安全対策としては、浄水場や配水池等水道施設の施錠の徹底や巡回による点検の他に、監視カメラによる警備の強化などを進めています。また、水質異常を検知するために、原水・浄水・配水に対し、自動水質監視機器、毒物監視水槽、油分計、活性炭注入設備などを設置し、水質の安全管理の徹底を図っています。</p> <p>ご指摘のように2019年、2020年に向けて、宿泊客を含めて人の往来が増加することも予想されます。このためテロ等セキュリティ対策としては、警察、消防等の関係機関との連携による不審者の早期発見、テロの危険性および発生情報等の把握に努めるとともに、通常の施設巡回点検の強化や更なる自動監視機器の配</p>

意見質問等	回 答
	<p>備なども検討してまいります。</p> <p>また、安全な水道水を市民の皆様に供給するためには、貯水槽水道の管理等も強化する必要があります。このため、貯水槽水道の設置者や利用者に対しても、所管する生活環境課と協力して、施錠や防護柵の徹底など、広報を通じた注意喚起に努めてまいります。</p>